

ふしょうっこ日記

「教育実習修了式」



令和7年9月25日

今日は、子供たちが朝からそわそわしているように見えました。教生先生には「ヒミツ」にしていることが、たくさんあったようです。

17日間の教育実習が、本日で終わりました。大学生にとっては17日間ですが、A班とB班に分かれての実習でしたので、子供たちにとっては26日間の実習期間となりました。



長い実習期間に、それぞれの教生先生とのかかわりがありました。その出会いに感謝し、「教生先生と過ごす最後の日なので楽しい一日にしよう」と学級で様々な企画を考えたようです。学級活動の様子を見ていると、どの教室にも笑顔があふれていました。



放課後には、教育実習終了式を行いました。これは、実習生と教員による終了式です。校長訓話の中で、「教員は生涯



をかけるに値する仕事」という話がありました。やりがいのある仕事に就いたと思うと同時に、目の前に並ぶ大学生の中から、教員を志す人が増えるとよいな…と思いました。教育実習は、本校の使命の一つである「教員養成」です。子供たちとの良いつながりはもちろんのこと、教員とのつながりもあり、お互いに学び深い実習となりました。